

# 勢和小学校だより

発行日：令和7年4月7日 第1号



職員一丸となって頑張ります。よろしくお願いします

担当	名前	備考	担当	名前	備考
校長	小山 直俊		専科	中川 直和	錦小より非常勤
教頭	川北 仁美	斎宮小より	専科	保田 百合子	相可小より非常勤
1年	坂口 奈紀沙		専科	小林 恵利	非常勤
2年	爲安 亜紀		初任者研修補充	中村 真奈美	教育委員会兼務
3年	服部 諒		養護教諭	油田 奈保	
4年	藪内 大誠	新規採用	事務職員	牧 知香	大台中より
5年1組	山路 鷹貴		図書館司書	尾藤 あゆみ	
5年2組	星合 智子		校務員	伊藤 孝子	
6年	森下 尚美		学校支援員	伊藤 さおり	
ささゆり1	一ノ谷有加里		学校支援員	黒木 さとみ	
ささゆり2	森田 竜矢		学校支援員	坂上 淳子	多気中より
ささゆり3	垣内 麻鈴	新任	学校支援員	山崎 志保	多気中より
初任者研修指導教員	川田 佳也	津田小兼務	学校支援員	坂内 裕子	新規採用
専科	松岡 美佳	日進小より	学校支援員	小塩 明美	新規採用
専科	前納 紗希	上御系小より	学習指導員	山中 真帆	新任

## 明日も行きたくなる勢和小に

お子様のご入学、ご進学おめでとうございます。

新年度になり、希望に胸を膨らませているお子さんたちをお預かりし、健やかにたくましく、そしてしなやかに成長していけるよう、本校職員一丸となって取り組んでいきます。

さて、これまで「子どもたちにとっても、保護者にとっても、教職員にとっても安心・安全な学校づくり」を基盤に教育活動を進めてきましたが、さらに本校をよりよくしていくために、子どもたちの考えを取り入

れ、子どもたち自身が日頃から本校の教育目標を意識して生活できるよう、子ども目線の教育目標に改訂しました。

卒業式後の昨年度末に、新6年生となる当時の5年生と話し合い、以下のように新しい学校教育目標を設定しました。

明日も行きたくなる勢和小  
笑って楽しく過ごせるように、  
やって、考え、工夫しよう

「1年生から6年生の誰もが覚えやすいこと」、「分

かりやすいこと」を条件に新目標決定に向けて話し合いました。話し合いの様子を見ていると、下級生のことを考えながらも、自分たちが目指したい学校について具体的な言葉で話し検討していて、最上級生としての自覚が3月の時点で既にあることを感じました。

ところで、明日も行きたくなり、笑って過ごせるためには以下の5つが特に必要だと考えています。

- ①授業で子どもたちが「わかった、できた、上達した」を感じることを。
- ②クラスや学校が「ホッとできる、弱音が吐ける。」場所であること。
- ③みんなで目標や思いを共有し、仲間の存在を意識すること。
- ④難しいことや苦手なことにも挑戦し乗り越えたり、現状から課題に気づき、改善したりすること。
- ⑤事故やケガなく、安全・健康的に過ごせること。

これらのことを具現化していくために、学校では以下のことについて重点的に取り組んでいきます。

- (ア)日頃から授業改善
- (イ)いじめや体罰がなく、子どもたちが安心できる学級経営

- (ウ)目標や手立てを共有した自治活動の推進  
(当番、係、委員会活動の充実)
- (エ)子どもたちの課題発見解決力や根気・継続力および改善意識の向上
- (オ)安全・快適な環境整備と子どもたちの安全・健康意識の向上

また、子どもたちには以下のことを意識させていきます。

- (ア)「分からないことはない?」「困ってない?」と仲間に問いかげられること。
- (イ)いじめをなくそうとすること。
- (ウ)当番活動や係活動、委員会活動を真面目に取り組むこと。
- (エ)気になることは放っておかず、解決しようとする。
- (オ)早寝早起き、交通ルールを守る、丁寧な手洗いなど規則正しく、清潔を保って生活すること。

「明日も行きたくなる勢和小」を築いていけるよう子どもたちと共に取り組みを進めていきます。保護者の皆様には、本校教育活動に対してご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 転出職員紹介

職員名	転出先等	職員名	転出先等
寺谷 寿美	明和町明星小 校長	小林 大悟	大台町宮川中
浅野 智子	伊勢市早修小	伊藤 典子	大台町三瀬谷小
山崎 伊都子	明和町斎宮小	小倉 啓孝	退職
百田 純子	明和町明星小	竹森 圭美	多気中
田中 里佳	相可小	中島 美加	多気中

その他、年度末に離任した他の学校支援員について、教諭として新規採用された者は県内小学校に赴任し、講師として採用された者は県内高校や小学校に赴任いたしました。お世話になり、ありがとうございました。